

遺伝研 新型コロナウイルスによる緊急事態対応事業
緊急事態宣言に伴うマウス胚及び精子凍結保存に関する対応について

実験動物学会会員の皆様

現在コロナウイルスの感染拡大に伴い7都府県で緊急事態宣言が出されています。
都市圏に隣接する三島市も危険性は例外ではありませんが、まだ持ちこたえています。

マウスを飼育している大学等の飼育施設では、感染者が複数出てクラスターが発生するなどの事態になれば飼育そのものが難しくなることも予想されます。そこで、大学共同利用機関として国立遺伝学研究所では生物遺伝資源センターのゲノム変異マウス開発支援部門及び動物飼育実験施設において、マウス胚及び精子凍結保存の支援を行います。

https://www.nig.ac.jp/nig/ja/2020/04/information_ja/mouse-kinkyushien.html

対象者

国内の大学等でマウスの飼育で緊急事態に直面している、あるいは今後近いうちに遭遇することが強く懸念される方

支援内容

1. 凍結胚の作製と保存 C57BL/6J 未授精卵と IVF によりヘテロで保存
2. 凍結精子の作製と保存 ストローで凍結し保存

受け入れ可能の上限（凍結胚は 20 系統、凍結精子は 100 系統）に達した場合は、その後の受け入れはお断りします。1 件あたり最大でも 5 系統とします。

支援費用

緊急支援として無料とします。大学共同利用機関の生物遺伝資源事業の一環として国立遺伝学研究所では支援費用を準備し、本予算内で実施します。

実施方法

- 1、依頼者より性成熟したオスを複数頭、遺伝研へ送付。
- 2、送付されたマウスより精子または受精卵を凍結し液体窒素内で保存。
- 3、作成した精子または受精卵のみ国立遺伝学研究所にて保存、管理。
- 4、緊急事態が改善された後、作成した精子または受精卵ドライシッパーにて返送。
- 5、最大の保存期間は作成より 1 年。

送付方法

依頼されるマウスは動物輸送業者に輸送は委託してください。輸送費は自己負担とします。

免責

- ・新型コロナウイルスへの対応のため遺伝研が閉鎖あるいは作業の継続ができなくなった場合には、依頼された作業が中断されることがあります。
 - ・システムにより凍結精子や凍結胚がうまくできないことがあります。
- 以上の点は、あらかじめご了解の上申し込みください。

申し込み方法

緊急でご希望の方は以下の情報を下記の連絡先までメールで申し込みを行い、担当者
と調整の上、実施の可否を決定します。

ご所属：

責任者のお名前：

所属先住所： 〒

メールアドレス：

電話番号：

ファックス番号：

依頼する理由：

系統数（最大5系統）：

系統名：

組換え体の有無：（組換え体 非組換え体）

組換え体の場合は譲渡に必要な情報をお知らせください。

核酸供与体、供与核酸（遺伝子名等）、拡散防止措置の区分

ゲノム編集個体で組換え体でない場合もその旨情報をお知らせください。

その他 凍結に際し必要な情報

備考

以上

申し込み担当、連絡先

担当者：相賀裕美子、小出剛

連絡先：国立遺伝学研究所 動物飼育実験施設

〒411-8540 静岡県三島市谷田 1111

TEL: 055-981-6829（相賀）、055-981-5843（小出）

E-mail: nigmouse@nig.ac.jp

この国難を研究者が力を合わせて乗り切ることができるよう心より願っています。